

岩手県支部

「岩手県内のNPO法人の実態」に関する調査研究

岩手県内には、県の認証を受けた特定非営利活動法人（NPO法人）が170団体ほどある。それぞれがボランティア精神を基本においた地域活動などを実施しているが、経営・経理・税務・労務などの専門知識のあるスタッフ不足を課題としてあげているところが多い。

岩手県はNPO法人を支援するため、アドバイザー派遣事業や各種のセミナーなどを実施しているが、最近、中小企業診断協会岩手県支部にも協力を求められるケースが多くなってきている。

このような状況のなかで、県内のNPOの実態を把握し、行政、NPO法人、さらにはわれわれ中小企業診断士の今後の活動に寄与することを目的に、報告書をまとめたものである。

報告書の内容は、次のとおりである。

第1章 岩手県が実施した「NPOの活動状況等」に関する調査

岩手県地域振興部が平成16年2～3月に県内のNPO法人等を対象にアンケートを実施しており、その報告書の概要部分を転載した。

第2章 岩手県内のNPOの実態

第1章のアンケート結果をさらに深く掘り下げ、関係法令の紹介なども交えて解説している。

第3章 鼎談「岩手県のNPOを語る」

当支部の支部長が担当している岩手ケーブルテレビの番組で「岩手県のNPOを語る」というテーマを取り上げ、支部長と岩手県地域振興部の担当主任、いわてNPOセンター理事長の3人が鼎談した。その内容をそっくり活字にして掲載した。県の施策や具体的な活動事例、今後いかにあるべきかなどが語られている。

第4章 県内のNPO法人へのインタビュー

県内の12のNPO法人を支部会員が訪ねて理事長などにインタビューしている。具体的な活動事例の紹介として参考になると思われる。